

令和元年度 十勝川中流部市民協働会議 活動記録 (12)

第2回 十勝川アシリチェプノミの開催

日 時	令和元年9月8日 (日) 10:00~12:30
場 所	北海道立 十勝エコロジーパーク
内 容	十勝川流域では、かつてアイヌ民族の皆さんが十勝川を遡上するサケを捕獲し、カムイ (神) に感謝をささげる儀式として「アシリチェプノミ」を行っていました。「十勝川アシリチェプノミ」は、サケの遡上を迎えるアイヌ民族の 伝統儀式を継続させていこうという活動です。この活動は、(公財) アイヌ民族文化財団の助成を受け、十勝川アシリチェプノミ開催実行委員会が主催し、池田町長や道内各地のアイヌ協会の皆様に参加頂きました。十勝川中流部市民協働会議は、協賛団体としてお手伝いをすることで、自然や川と長い間共存してきたアイヌの人たちの文化から「持続可能な川づくり」を学び、さらに川のアイヌ文化を発信し、広く理解を深めて行くことを目指し今後もこの活動を応援していきます。
スケジュール	10:00 主催者挨拶 10:10 カムイノミ 10:40 伝統舞踊 帯広カムイトウウポポ保存会 11:10 アイヌ料理試食会 11:30 マレク漁体験



司会：笹村律子氏



小川哲也氏から開会の挨拶
(実行委員長)



勝井勝丸氏からの挨拶
(十勝川中流域かわまちづくり協議会 会長)

カムイノミ（カムイ（神）へのお祈り儀式）

カムイノミでは、伝統衣装に身を包んだ参列者が、会場内に設置された祭壇前の炉を囲み、木製の祭具に酒を付けてカムイに捧げる儀式を厳かに行いました。



儀式の様子



儀式の様子

帯広カムイトウウポポ保存会による伝統舞踊



伝統舞踊の様子

マレク体験

マレク漁の体験は、「一般社団法人 十勝釧路管内さけ・ます増殖事業協会」のご厚意で入手できたサケ 11 尾を会場近くの園内水路に放流し、アイヌ伝統漁具「マレク」を使った漁を一般参加者の方々にも体験して 頂きました。



マレク漁体験の様子

アイヌ料理試食会



チェプオハウ



サケ切身の塩焼き

アイヌ民族の民芸品を展示販売ブース

